

令和 4 年度
提案型協働事業
活動報告集



【令和4年度】提案型協働事業活動報告集

目 次

● 協働～地域課題の解決のために～	1
● 提案型協働事業とは	1
● 令和4年度提案型協働事業一覧	1
● 市民提案型協働事業	
①ふるさと狭山の遺産「広瀬斜子織の普及啓発と再現」 （実施団体：狭山遊系会）	2
②いりそらマルシェ（実施団体：いりそら）	4
③音楽を通じた“弧育て”支援－打楽器のワークショップで作る交流の場－ （実施団体：こそだて支援comono）	6
④ONE-SEVEN MARKET（実施団体：ONE-SEVEN）	8
● 行政提案型協働事業	
①障がいのある方が教える「ボッチャ教室」 （実施団体：社会福祉法人 茶の花福祉会 大樹の家）	10
● 直近3年度分の提案型協働事業一覧	12
● 提案型協働事業チェックシート	13
● 協働事業提案制度（提案型協働事業）年間スケジュール	14
● 協働のイメージ図	16
● 参考資料	17

● 協働～地域課題の解決のために～

近年、人口の減少や急速な少子高齢化の進行や経済状況の悪化などの影響により、地域の活力が失われつつあり、様々な地域課題を解決するための取り組みがより一層求められています。

そのような中、本市では平成31年4月に「狭山市協働によるまちづくり条例」を施行し、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」を合言葉に、心豊かで活力に満ちた地域社会の実現目指して、市民と市との協働によるまちづくりを推進しています。

● 提案型協働事業とは

市では、協働によるまちづくりを推進する1つの手法として、提案型協働事業を実施しています。

提案型協働事業とは、地域課題や行政課題を自ら解決しようとする市民活動団体等から、各団体の専門性や柔軟性等を活かした公益的な事業を募集し、提案された事業の実施にあたり、市が必要な情報提供、情報発信及び経費等の支援を行うことで、市民主体のまちづくりを推進しています。

提案型協働事業には次の2つの事業があります。

【市民提案型協働事業】

地域課題などの解決に向けて市と協働で実施したい事業を自由に企画・提案する事業

【行政提案型協働事業】

市が市民活動団体等と協働で実施したい公共的な課題をテーマにし、そのテーマに沿った提案を募集する事業

● 令和4年度提案型協働事業一覧

・市民提案型協働事業

	事業名	団体名
1	ふるさと狭山の遺産 「広瀬斜子織の普及啓発と再現」	狭山遊系会
2	いりそらマルシェ	いりそら
3	音楽を通じた“弧育て”支援 ー打楽器のワークショップで作る交流の場ー	こそだて支援comono
4	ONE-SEVEN MARKET	ONE-SEVEN

・行政提案型協働事業

	事業名	団体名
1	障がいのある方が教える「ボッチャ教室」	社会福祉法人 茶の花福祉会 大樹の家

この活動報告書では令和4年度の提案型協働事業5事業の活動の様子を報告します

【市民提案型協働事業①】

事業名：ふるさと狭山の遺産

「広瀬斜子織の普及啓発と再現」

団体名：狭山遊糸会

担当課：生涯学習部社会教育課

事業費：167,345円

補助金額：125,000円

団体情報



ホームページ

● 事業概要

広瀬斜子サロンや織物体験講座の開催等を通じて、「広瀬斜子織」の普及啓発を行う。
また、「広瀬斜子織」の再現に向けた調査研究を行い、再現発表会を開催する。

● 事業の目的・ねらい

- ・狭山の文化遺産「広瀬斜子織」を広く市民に知ってもらうとともに、平織体験を通じて郷土愛の醸成を図る。
- ・織機の整備、技術の習得、情報収集により「広瀬斜子織」の再現を目指す。

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
毎月1回	斜子サロンの開催(広瀬公民館)
R4. 7	織物体験会の開催(入間川小学校、広瀬公民館)
R4.10	動画「狭山市内に現存する養蚕信仰」公開
R4.10	狭山市民文化祭(会場:広瀬公民館)に出展
R4. 12	市役所エントランスホールパネル展の開催
R5. 3	市役所エントランスホールパネル展の開催

※織物体験会は複数回開催場所を変えて実施

● 事業の成果

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による規模縮小はあったものの、例年以上の回数の織物体験を開催することができた。(回数:9回、参加人数:115名)
- ・広瀬斜子織の定期的な開催(回数:12回、参加人数:57名)
- ・広瀬斜子織をPRするための紙芝居を織物体験会や講演、YouTube等で活用することができた。
- ・再現活動についても、20パターン以上の試し織等により、再現報告書をまとめる段階まで活動を進めることができた。

● 今後の展望・課題

- ・当初の目標であった令和4年度中の広瀬斜子織再現作業完了は残念ながら達成できなかったため、今後は地域への広瀬斜子織の普及啓発活動を継続しながら、広瀬斜子織の再現を可能な限り早期に達成したい。

● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

- ・この1年間で織の精度向上を図れたことで、「広瀬斜子織の再現」に確実に近づくことができた。
- ・より充実した内容の再現発表会の開催に向けて、社会教育課と狭山遊糸会とで試し織や発表方法などに対する共通認識を持てたことは大きな成果と考えている。

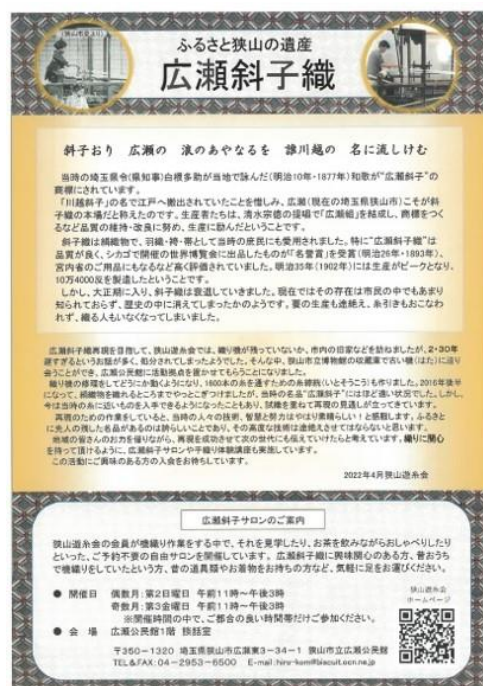
● 活動の様子



織物体験会の様子①



織物体験会の様子②



広瀬斜子織普及チラシ

【市民提案型協働事業②】

事業名： いりそらマルシェ
団体名： いりそら
担当課： 環境経済部商業観光課
事業費： 181,858円
補助金額： 102,000円

団体情報



Instagramアカウント

● 事業概要

令和4年11月27日に様々なクリエイターや市民が集うマルシェ事業を入曽駅前商店街の一角で開催する。

● 事業の目的・ねらい

- ①市民が入曽のまちに興味を持つ
 - ②クリエイターが活躍できる場を作り、それに興味を持った市民が集う
 - ③次世代を担う若者世代へ地域参画の機会を提供する
- ①、②、③を目的としたマルシェをまちづくりのスタートアップとし、コロナ禍で失われつつあった市民交流を促進するとともに、入曽地域交流センターや自治会等、地域の核となる施設・団体等とも連携し、地域交流を推進する。

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R4.9	いりそらマルシェ実行委員会を組織し、実施事業等について商店街や関連団体等に説明 フライヤー作成(チラシ)、道路使用や消防等の許認可関係手続を開始 広報さやま掲載依頼(広報課・9月下旬)
R4.10	出店者に対する説明・市役所担当者とミーティング・広報活動 フライヤーの配布を小中学校等に依頼(教育委員会)
R4.11	いりそらマルシェ実施、終了後は関係者へ報告
R4.12	いりそらマルシェ実行委員会事業検証・ヒアリング等
R5.1	次回開催に向けてのミーティング
R5.2	次回開催内容を決定

※上記以外に団体メンバー及び担当課との打ち合わせを複数回実施

● 事業の成果

- ・マルシェ当日は約3800名の方が来場し、多くの方から次回の開催を希望する声が寄せられている。
- ・当日、クリエイターが活躍の様子を見て、次回開催時の出店にチャレンジをしたいという意思表示をする方がいた。
- ・コロナ禍で失われつつある市民交流を大いに促進することができた。

● 今後の展望・課題

- ・今後は、事業についての振り返りをより深く行い、第1回目と同様の規模で再度事業実施を図るとともに、入曽地域交流センターや自治会等の地域の核となる施設や団体等との交流・連携の推進を図っていききたい。
- ・次世代を担う若者世代へ地域参画の機会をさらに提供していくために、具体的な交流や事業を考えていきたい。

● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

- ・広報さやまや市の公式ホームページへの情報掲載、市内の小中学校へのフライヤー配布など、多方面から事業の周知を行うことができた。
- ・誰でも気軽に参加できる場づくりを提供し、「いりそら」が中心となって市民交流・世代間交流の促進が図れたことで、狭山市や入曽地区の魅力創出につながるものであった。
- ・道路占用許可等の各種申請手続きが市の補助によりスムーズに行うことができた。

● 活動の様子



会場入口装飾



出店の様子



アーティストによる
スティールパン演奏

【市民提案型協働事業③】

団体情報

事業名：音楽を通じた“孤育て”支援

ー打楽器のワークショップで作る交流の場ー

団体名：こそだて支援comono

担当課：市民部自治文化課

事業費：215,614円

補助金額：210,000円



Facebookページ



Instagramアカウント

● 事業概要

市内の公共施設等で、乳児から大人まで、誰でも楽しめる打楽器のワークショップを開催することで、“ママ友”との出会いと交流の場を作るとともに、市内の子育て支援情報を提供する。

● 事業の目的・ねらい

- ・“孤育て”の負担が軽減される場を作ること
- ・定期的にワークショップを開催することで、参加者の「つながり」を作ること
- ・誰もが心から楽しめる場を作ること

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R4.9	【第1回事業】実施日時・会場の決定、チラシ作成
R4.10	【第1回事業】「青空の下でパチカを演奏しよう！」開催 (参加者:約200名)
R4.11	【第2回事業】実施日時・会場の決定、チラシ作成
R4.12	【第2回事業】「空き缶で楽器を作ってクリスマスソングを演奏しよう！」 開催(参加者:約70名)
R5.1	【第3回事業】実施日時・会場の決定、チラシ作成
R5.2	【第3回事業】「大きなホールで打楽器を演奏しよう！」開催 (参加者:約130名)

※上記以外に団体メンバー及び担当課との打ち合わせを複数回実施

● 事業の成果

- ・全3回のワークショップを開催することにより、母親たちをつなぐ交流の場やリフレッシュの場を提供することができた。
- ・ワークショップ参加者に対して市内の子育て支援情報を提供できた。
- ・“孤育て”の負担軽減のための場づくりができた。

● 今後の展望・課題

- ・年齢や立場に関係なく、誰もが楽しめる開かれたワークショップを開催する。
- ・ワークショップを通じてできた「つながり」を継続的な「つながり」にする。
- ・つながることによって「何か・誰か」を頼れる環境づくりを行う。
- ・日常的にワークショップを開催できるよう、サークル活動のような自発的な活動を展開し、“孤育て”の負担がより軽減されるような体制を作る。
- ・音楽への興味・関心を“心の豊かさ”へとつなげていく。
- ・今後、活動を継続していくため、いかに事業資金を獲得していくかが課題。

● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

- ・「広報さやま」や市の公式SNS等を活用することで、幅広い層に対して事業の周知を行うことができた。また、市内の保育所・幼稚園にチラシを配布することで多くの方に参加してもらえた。
- ・市内公共施設の場所や特性を共有することにより、全3回の事業を様々なエリアで実施することができた。
- ・団体とつながりのある講師やスタッフの協力を得ることで、子育て世代のニーズに合った事業が実施できた。

● 活動の様子



「青空の下で
パチカを演奏しよう！」



「空き缶で楽器を作って
クリスマスソングを演奏しよう！」



「大きなホールで
打楽器を演奏しよう！」

【市民提案型協働事業④】

事業名： ONE－SEVEN MARKET

(ワンセブンマーケット)

団体名： ONE－SEVEN

担当課： 環境経済部環境課

事業費： 261,004円

補助金額： 200,000円

団体情報



Instagramアカウント

● 事業概要

狭山市駅西口市民広場を会場に、SDGsの啓発を目的としたマーケット形式のイベントを開催する。

● 事業の目的・ねらい

- ・市民がSDGsについて楽しみながら知るきっかけとなる企画を実施する。
- ・協働事業として実施することにより、普段接点のないステークホルダー間の交流を促し、イベント当日だけでなく事業後の連携や協働も促進する。

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R4.9	企画会議(全4回)・出店者募集・各所打ち合わせ
R4.10	参加者確定、チラシの作成及び広告の準備
R4.10	事業周知(チラシ配布・ポスター掲示)
R4.10	第1回事業実施(2日間:約2,000名参加)
R4.10	第2回の企画会議の実施
R4.11	出店者募集及び確定、チラシ作成
R4.12	第2回事業実施(1日間:約200名参加)
R4.12	事業アンケートの集計・振り返り

※上記以外に団体メンバー及び担当課との打ち合わせを複数回実施

● 事業の成果

- ・当日は子どもだけでなく、大人も興味を示しながら参加する様子が見られた。
- ・普段、イベント会場に参加することが難しい障がいを抱えた方やその家族が多く来場し、コミュニケーションを図る様子が見受けられた。
- ・様々な団体・企業の出展が実現したことにより、普段接点のないステークホルダー間の交流が実現した。

● 今後の展望・課題

- ・イベントの周知や集客における課題が多く見つかったため、次回は周知の方法やツールの活用から見直していきたい。
- ・事業内容について、参加者の層に合ったものや、参加者により喜ばれる内容へ改善していく。

● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

- ・市民発信で“SDGs”というテーマを掲げて、様々な分野の出店者や市内企業等と連携しながら事業を実施できたことは、一つの成果であるといえる。
- ・団体単独では、リーチが難しい地域企業との幅広いマッチングを実現できた。
- ・様々な分野の方の協力により、子どもだけでなく、幅広い世代が楽しみながらSDGsについて学べる事業が実施できたと考える。

● 活動の様子



出店者との交流



廃材を活用したアトラクション
(輪投げ)



SDGs啓発パネル

【行政提案型協働事業①】

事業名：障がいのある方が教える「ボッチャ教室」

団体名：社会福祉法人茶の花福祉会 大樹の家

担当課：福祉部障がい者福祉課

事業費：55,862円

委託料：55,862円

団体情報



ホームページ

● 事業概要

地域の方々とパラリンピック正式種目であるボッチャ競技を通じた地域交流・スポーツ参加の場として8月と10月の全2回、ボッチャ教室を開催する。

事業開催にあたり、障がいを持つ方が企画から参加することで、地域の中での役割を担っていく。

● 事業の目的・ねらい

- ・地域の幅広い年代の方にパラリンピック正式種目であるボッチャを知ってもらうとともに、交流・スポーツ参加の場を提供する。（8月は夏休み中の子ども対象、10月は幅広い年齢対象）
- ・障がいを持つ方が事業の企画から関わり、当日スタッフとして参加することで、地域の中での役割を担う。
- ・障がいをもつ方に対する理解の推進につなげる。

● 活動内容(事業スケジュール)

実施時期	実施内容
R4.5	実施内容の決定、日程打合せ
R4.6	広報さやま募集記事、ポスター・チラシの作成
R4.7	関係者打合せ、ポスター・チラシ配布、会場予約
R4.10	ボッチャ教室の開催(会場:新狭山公民館)
R4.11	実施内容、アンケート振り返り
R5.2	反省会・事業評価

※上記以外に団体メンバー及び担当課との打ち合わせを複数回実施

● 事業の成果

- ・20代から80代まで幅広い年齢層の参加者がボッチャを通じて交流できた。
- ・試合の中で、車椅子やランプ(竹や雨どいを利用)を使用することによって、参加者に当事者(障害を持つ方)体験をしてもらうことができた。

● 今後の展望・課題

- ・新型コロナウイルスの影響により、前年度に引き続き当日は、運営を行う予定であった施設入居者が参加することはできなかったが、今後は施設入居者を交えた事業の実施を実現したい。
- ・事業を通じて子どもから高齢者まで幅広い世代の方が楽しめるスポーツであると実感できたため、今後は、幅広い世代を対象にボッチャを通じた交流や障がい者に対する理解の促進、健康づくりに取り組んでいきたい。

● 協働事業としての評価(実施団体と担当課で実施)

- ・障がいのある方や幅広い年齢層の方々など狭山市の各地区から多くの市民の方が参加した。
- ・事業の実施団体が開催までの役割を担い、ボッチャ体験、試合、当事者体験等、プログラムの工夫を行うことができた。
- ・協働事業への取り組みをきっかけに、市内の他のイベントでボッチャを実施するなど活動を繋げることができた。

● 活動の様子



ルール説明動画の様子



試合の様子



参加者の集合写真

◎過去3年分の提案型協働事業一覧

① 市民提案型協働事業

No	実施年度	事業名	団体名	担当課
1	令和3年度	犯罪被害者等支援事業	犯罪被害者・ 交通被害者等支援の会	交通防犯課
2		障害のある人もない人も楽しめる ビリヤード教室	さやまビリヤード 愛好会	障害者福祉課
3		ふるさと狭山の遺産 「広瀬斜子織の普及啓発と復元」	狭山遊糸会	社会教育課
4		見えない違いに目を向ける「まちづくり」 in SAYAMA	MA-ZIRY	人権推進室 (政策企画課) 男女共同参画 センター (市民文化課)
5		道にお絵かき!?大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかに負けないぞ!～	Sayama Second Stage	協働自治推進課
6	令和2年度	トワイライトステイ事業	いりそ支え合いたち	こども支援課
7		道にお絵かき!?大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかに負けないぞ!～ ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	Sayama Second Stage	協働自治推進課
8	令和元年度	犯罪被害者等支援事業	狭山市犯罪被害者・ 交通被害者等支援の会 (オーブ)	交通防犯課
9		障害のある人もない人も楽しめるビリヤード教室	さやまビリヤード愛好会	障害者福祉課
10		産後ケアネットワーク事業	さやマンセ	保健センター
11		ボランティア体験発表会 ボランティアの活動・今 ささえあう ゆたかな 地域を目指して	ボランティアの止まり木	協働自治推進課

② 行政提案型協働事業

No	実施年度	事業名	団体名	担当課
1	令和3年度	狭山市版食のセーフティネットの 仕組みづくり	フードバンクさやま	福祉政策課 資源循環推進課 こども支援課
2		シンサヤマミューラル事業	新狭山北口 商店会	商業観光課
3		障がいのある方が教える「ポッチャ教室」	社会福祉法人 茶の花福祉会 大樹の家	障害者福祉課
4	令和2年度	狭山市版食のセーフティネットの 仕組みづくり事業	フードバンクさやま	福祉政策課
5	令和元年度	駅前発!楽しく学ぶ自分磨き講座	NPO 法人さやま生涯学習を すすめる市民の会	社会教育課
6		狭山市防災マップ多言語化事業	Well-being Make	危機管理課
7		「協働」をより身近に! 市民と市職員とのワークショップ研修	Sayama Second Stage	協働自治推進課 職員課

提案型協働事業チェックシート

提案型協働事業（市民提案型協働事業・行政提案型協働事業）として実施できる事業には一定の要件があります。

事業提案の前に、まずは提案しようとする事業が要件を満たしているかチェックしましょう。
（詳細な条件については別途ホームページ等でご確認ください）

提案しようとする事業は、「地域で困っていること（地域課題）や社会的課題の解決につながる事業」or「狭山市をより魅力的なまちにする事業」ですか？

YES

その事業は非営利な活動であり、市民の公益につながりますか？

YES

その事業は“自分たちだけの力”で実施できるものですか？

NO

その事業は行政と協働することによる相乗効果の期待できるものですか？

YES

その事業は『行政提案型協働事業』として募集されているテーマに合致する事業ですか？

NO

提案型協働事業の要件には該当しません。

NO

YES

提案型協働事業の要件には該当しませんが、事業の実施にあたって行政と協働したい事項がある場合は、関係する所管課にご相談ください。
関係する所管課が不明な場合は自治文化課にご相談ください。

NO

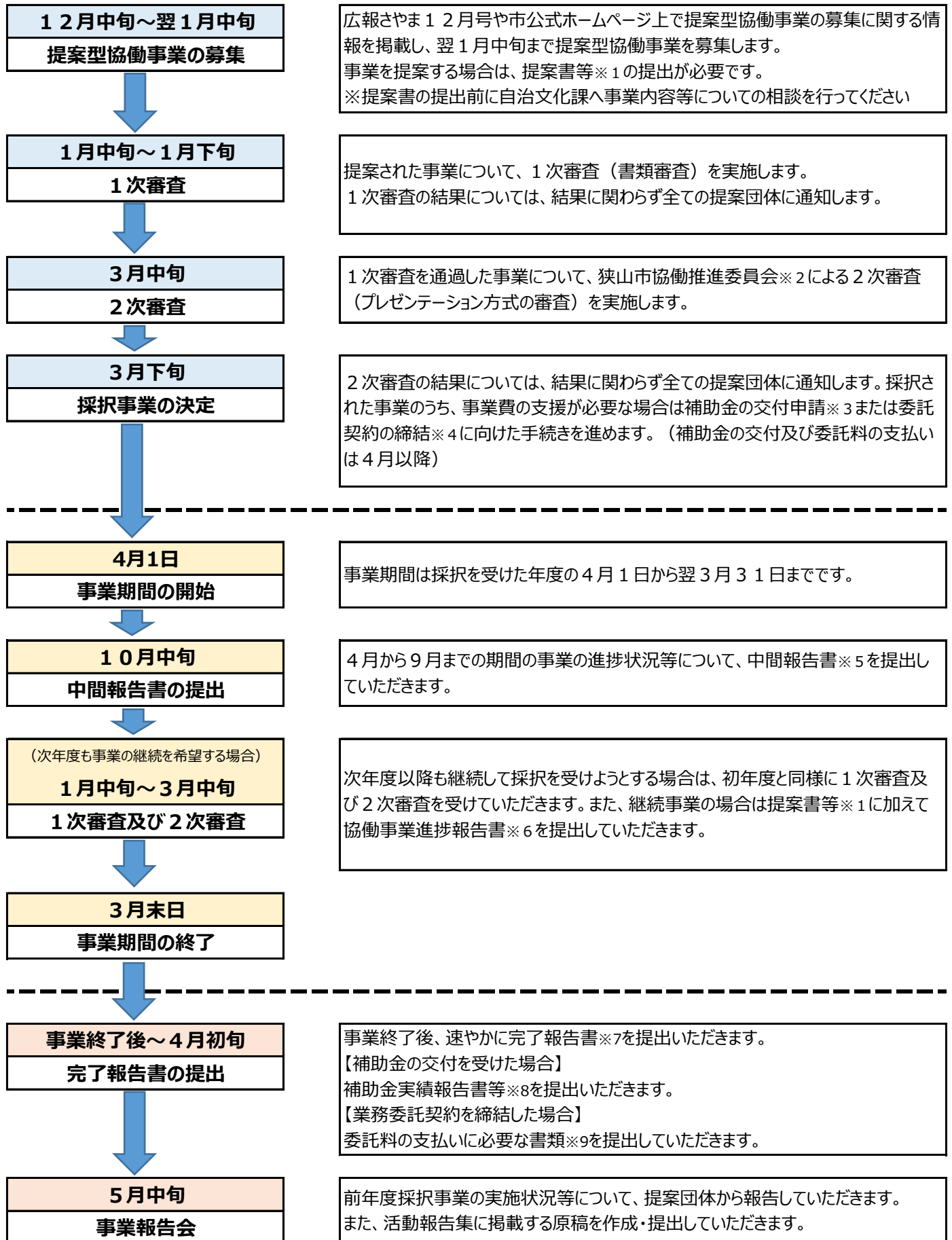
NO

『市民提案型協働事業』
として事業を提案してみましょ！

YES

『行政提案型協働事業』
として事業を提案してみましょ！

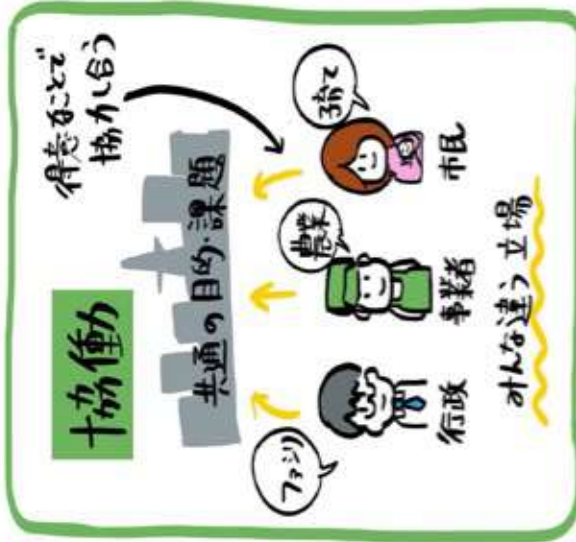
協働事業提案制度（提案型協働事業）年間スケジュール（新規で事業の提案を行う場合）



※上記スケジュールは変更となる場合があります

-
- ※ 1 事業を提案する場合は①協働事業に関する提案書、②協働事業に関する企画書、③協働事業収支予算書、④協働事業実施スケジュール、⑤協働事業提案団体概要書等の提出が必要です。
- ※ 2 協働推進委員会とは、狭山市協働ガイドラインに基づき、狭山市における市民との協働を市民の主体的な参画により総合的かつ計画的に推進するため、市民（市民活動団体及び市内企業関係者など）及び市職員で構成する委員会です。
- ※ 3 補助金の交付を受ける場合には、狭山市協働事業補助金交付申請書の提出が必要です。
- ※ 4 委託契約の締結にあたっては、市が作成する仕様書に基づいた①見積書の提出と②契約書の作成等が必要です。
- ※ 5 中間報告書では、4～9月までの活動実績と10月以降の活動予定、収支の状況について報告していただきます。
- ※ 6 協働事業進捗報告書では、4～翌1月までの活動実績と収支の状況等について報告していただきます。すでに事業が完了している場合は進捗報告書に代えて完了報告書を提出していただきます。
- ※ 7 完了報告書では、4～3月までの活動実績と収支の決算等について報告していただきます。
- ※ 8 事業終了後、①狭山市協働事業補助金実績報告書、②狭山市協働事業補助金精算書を提出いただき、補助金の精算を行います。なお、確定した補助金額が交付済みの補助金額を下回る場合は、補助金の一部を返還していただきます。
- ※ 9 委託業務の完了通知書及び委託料の請求書を提出していただきます。確定した事業費が契約時の委託金額を下回る場合は、変更契約を行います。なお、委託料の概算払いを受けている場合は、変更契約後、支払い済みの委託料の一部を返還していただきます。

「きょうどう」とは



共同

共通の活動



協同

共通の活動

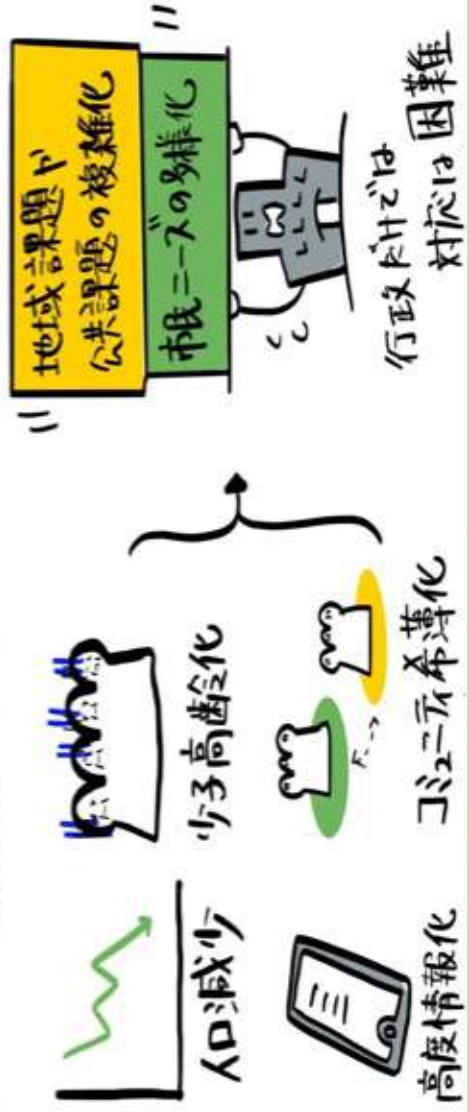


「地域の元氣」を創造する

協働のポイント

- 1 相互理解
積極的なコミュニケーション
- 2 公平性の確保
均等にやりとり
- 3 対等性の確保
相互の特性が活かせる手法・手続き
- 4 役割分担の明確化
行政のやること
市民のやること
- 5 目的の共有
共通の目的・課題
- 6 効果の可視化
成果の見える化

なぜ「協働」が必要なのか



× 「協働」すること自体が目的
○ 「協働」は課題解決の手段

参 考

提案型協働事業についての詳細やよくある質問等をまとめた「提案型協働事業のしおり」を作成しております。

提案型協働事業のしおりは、右側のQRコードからご確認いただけますので、事業を提案いただく際の参考にしてください。



▲協働事業の詳細についてはこちら

●令和5年度提案型協働事業一覧

令和5年度提案型協働事業は下記の9事業となります。

事業内容や実施状況については、狭山市公式ホームページからご確認ください。



▲狭山市
公式ホームページ

・市民提案型協働事業(6事業)

	事業名	団体名
1	ふるさと狭山の遺産 「広瀬斜子織」の普及啓発と再現	狭山遊系会
2	いりそらマルシェ	いりそら
3	音楽を通じた“弧育て”支援 ー打楽器のワークショップで作る交流の場ー	こそだて支援comono
4	にじいろ体操教室	一般社団法人 mama's community
5	高齢者のための元気が出る音楽レクリエーション 「ヨッコラショーズ」	童謡を歌う会 そよ風
6	狭山市探訪ウォーキングマップの制作	NPO法人さやま生涯学習 をすすめる市民の会

・行政提案型協働事業(3事業)

	事業名	団体名
1	犯罪被害者等支援事業	一般社団法人犯罪被害者等 支援の会「オリーブ」
2	集まれ、オンラインしゃべり場	NPO法人地域教育 ネットワーク
3	いりそらタウンミーティング	いりそら

自治文化課では、狭山市公式ホームページのほかインスタグラムやフェイスブックにおいて、事業の様子や市民活動全般に関する情報を発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。



▲インスタグラム
アカウント



▲フェイスブック
アカウント

発行元 狭山市市民部自治文化課

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

TEL:04-2937-5749(直通) FAX:04-2954-6262

Mail:culture@city.sayama.saitama.jp

